



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
■会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
■委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

第20回例会

平成26年11月26日(水) レストラン「風の谷」

■会員/72名 ■出席/49名 ■出席率/68.06% ■メイクアップ/23名 ■修正/72名 ■修正率/100.00%

本日のプログラム

- 12:30 開会点鐘
- ロータリーソング(我らの生業)
- 四つのテスト
- 会長挨拶
- 「風の谷」オーナー挨拶
- 県北第一分区・第二分区合同
- 青少年「新世代会議」報告
- ゴルフ部会報告
- スマイリングボックス報告
- お食事をどうぞ
- 会員スピーチ
- 幹事報告
- 職場訪問御礼
- 13:30 閉会点鐘

本日のソング 『我らの生業』

我らの生業 さまざまなれど
集いて凶る心は一つ
求むるところは 平和親睦
力むるところは向上奉仕
おおロータリアン



◆会長あいさつ◆



高橋 勇雄 会長

皆さん今日は。
本日は、昨年に引き続きレストラン「風の谷」さんでの移動例会です。
皆さん御存じのように、オーナーの高橋実さんは当クラブの会員であります。このお店は、お昼時にもなると平日でも超満席になることでも有名ですが、あえて無理を言って例会場とさせていただきました。正直、本日は売上減でしょうし、更に常連さんへの影響を考えますと、お店にとっては決して喜ばしい事とは思えませんが、職業奉仕の一貫としてお引き受け頂きました事、厚く御礼申し上げます。

さて、先週土曜日の22時8分、長野県で大きな地震が発生し、一部の地域に家屋の倒壊やけが人が集中的に発生しました。しかし、近隣住人との助け合いが功を奏し、亡くなられた方は皆無、この出来事を教訓に、改めて常日頃の防災意識の大切さを教えられました。なお余震が続いているようです。大事に至らぬ事を祈っております。

さて、先週の土曜日22日に県北第一、第二分区合同での青少年奉仕「新世代会議」が二本松青年海外協力隊訓練所にて開催されました。後ほど、青少年奉仕本田委員長から報告を頂きますのでよろしくお願い致します。

更に、翌日曜日には、福島21・福島南合同での「親善ゴルフコンペ」が開催されました。本日、ゴルフ部会長が欠席の為、吉田幹事より報告頂きますので宜しくお願いいたします。

せっかくの御馳走が待っております。挨拶は短く、幸せは長く、この辺で会長挨拶と致します。有難うございました。

◆青少年奉仕「新世代会議」報告◆

青少年奉仕委員長

本田 光男 委員長

先週の11月22日の土曜日、二本松市「二本松青年海外協力隊訓練所」(JICA二本松)で2014-2015年度国際ロータリー第2530地区県北第一分区・県北第二分区合同青少年奉仕「新世代会議」が行われました。

県北のインターアクトクラブ及び高校生・社会人の青少年38名とロータリアン53名が参加しました。成蹊高校からは女子4名と顧問の鈴木智美先生、当福島南RCからは大橋バストガバナー、高橋会長、吉田幹事、松崎青少年奉仕副委員長、私の5名で参加して参りました。

テーマは「学ぼう!世界のことを」～震災を乗り越え、国際人としてできること～でした。

目的は、若い人たちが震災を乗り越えて主体的な行動力を持った人材に育てていただくこと。また、国際社会の一員としての自覚や社会貢献の意欲を持つべく学びの場として地元にある素晴らしい施設であり、かつ国際貢献の拠点でもある、二本松青年海外協力隊訓練所を会場にし、青少年の方たちに研修を体験してもらおう形式の新世代会議でした。

研修内容は、二本松青年海外協力隊訓練所所長の北野一人さんによる「国際協力とグローバル人材」についての講演、所員である布田節子さんによる「貧困の輪」というワークショップを行い「貧困の負の連鎖」について学びました。発表も「栄養事情」「水」「感染症」「紛争・平和」「初等教育」の5つのテーマでグループごとに発表しました。食事ははさんでの研修で、昼食は日頃あまり食べる事の出来ない「ベトナム料理」の「牛肉のフォー」や「デザート」などを全員で頂きました。

以上で報告を終わります。



◆会員スピーチ◆

職業奉仕委員会

一條 浩孝奉仕委員長



当社は1991年に電子会社の下請けとして創業いたしました。当初は仕事の量も多く何とか経営が成り立っていましたが、徐々に仕事の量は減っていきました。

下請けという立場から売上が安定せず非常に経営が難しい中、やりがいも持たず苦しい時期を過ごしました。この苦しさを脱するには下請けを脱するしかない、と自社製品の開発を始めました。何も出来ないところから始めましたが継続することで徐々に開発設計が出来る会社になっていました。

皮むき機を始めたきっかけは、私の実家が干し柿の生産農家で、母親が皮むき作業で苦勞する姿を見て、なんとか楽にしてあげたいとの思いからでした。

当初は本業になどするつもりは毛頭になかったのですが、お年寄りにも使いやすいと評判になり、全国に広まることになりました。

今後も困っている方、苦しんでいる方を当社の作った機械で救う。そんな製品作りを目指して参ります。これが当社の職業奉仕であると思っています。

◆職場訪問御礼◆



「風の谷」のオーナー 高橋実会員へ、高橋勇雄会長より、職場訪問の御礼が手渡されました。

今月のプログラム

- 12月 3日(水)誕生祝い
ロータリーの友読みどころ
会員増強委員会報告
- 12月10日(水)クラブ年次総会
(次年度役員・理事発表、挨拶)
- 12月17日(水)会員スピーチ
IAC例会
- 12月24日(水)家族クリスマス忘年会(夜間例会)
- 12月31日(水)例会 休会

※ 地区情報

- 12/13 ロータリー財団補助金管理セミナー
- 12/19 第4回第一分区会長・幹事会